

伏山STEPS 情報活用能力を育むカリキュラム

分類要素	概要	学習内容	低学年		中学年		高学年		要素	分類	
			1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生			
A 知識・技能	S スキル	様々な情報手段を活用するための基礎的な知識・技能を身につける	目標	○コンピュータの操作方法を知り、マウスやキーボードの使い方を理解する。		○コンピュータやインターネットの特性を理解して、情報を検索して収集し、ローマ字入力で簡単なスライドショーを作る。		○コンピュータやインターネットの特性を理解し、生活や学習活動において情報を正確に読み取り分析し、自分の考えを表やグラフでまとめたスライドショーを作る。		S スキル	A 知識・技能
			A1:コンピュータの取り扱い	使用時のきまりを知る。準備や片付けができる。電源のON/OFFを知る。	充電ができる(残量の表示を確認する)音量を変える、アプリのログインログアウトができる	マウスの使い方を知る。簡単な図形を描き、移動や変形ができる。相互の位置関係をみなが適切な位置へ移動する。	提出機能、発表機能を利用して授業に参加し発表することができる。	情報の編集や加工ができる。複数のWEBページを開き閲覧することができる。			
B 思考・判断・表現	T ツール	収集した情報を精査し比較分析する	目標	五感を通した直接体験や図書やWEBから大切な情報に気づくことができる		メモをしたりコピーしたりして必要な情報を収集することができる。情報を取捨選択できる。		・情報収集の手段を選択して自分に必要な情報を得ることができる。 ・情報活用して、情報を整理することができる。		T ツール	B 思考・判断・表現
			B1:情報収集の方法(資料・インタビュー・アンケート・WEB検索)	・新聞や図書を読んで新しい発見をしよう ・疑問に思ったことをおうちの人にインタビューしよう ・友達に聞きたいことを質問しよう ・大切なことをメモしよう	・図書室で図書・資料を探す ・とどちにインタビューをしよう、アンケートをとって新聞をつくらう ・お話をききながら大事なことをメモしよう・インターネットで気になることを検索しよう	・図書室で図書・資料を探す。インタビュー、アンケート、マーケティング、イメージマッピングWEB検索で必要な情報を探す。	図書室で図書・資料を探す。インタビュー、アンケート、マーケティング、イメージマッピングWEB検索で必要な情報を探す。				
A 知識・技能	E エクスプローラ	自分の考えをまとめ、表現し発信する	目標	○はじめなかおわりの構成を考えて伝えたいことをまとめることができる ○相手を意識してわかりやすく表現することができる		プレゼンテーションソフトを使って自分の思いや考えを表現することができる。 表現方法絵御相手に応じて選択して、目的や相手に応じて適切に表現することができる。		・様々な情報手段を活用して必要な情報をまとめたり表現したりすることができる。 ・複数の表現手段を組み合わせて聞き手とのやり取りを含めて効果的に表現発信する。		E エクスプローラ	A 知識・技能
			B4:情報の発信	伝えたいことを話そう	1分間スピーチができる。A4サイズ1枚程度でまとめ新聞を書くことができる。	自分の思いを簡潔に話す					
B 思考・判断・表現	P プログラミング	コンピュータの特性を活かして問題解決する	目標	○問題解決における情報の大切さを意識しながら、動きや活動の順序に気づき良さを知ろう		意図した簡単な動作を実現するために順序を考えたくりかえしたり条件によって動きを変えたりする命令の組み合わせを考える		コンピュータを使った問題解決を通し情報及び情報技術の活用をふりかえり改善点を論理的に考えよう		P プログラミング	B 思考・判断・表現
			A11:プログラミングの活用	日常生活で順序がある場面があることに気づく。 コンピュータを動かすために明確な手順(アルゴリズム)を命令する必要があることに気づく。	意図した簡単な動作を実現するために順序を考えたくりかえしたり、条件によって動きを変えたりする命令の組み合わせを考える	意図した活動を実現するための操作の方法や手順を知る。					
A 知識・技能	S セキュリティー	安全かつ適切にICT機器を活用する	目標	○情報モラルや情報セキュリティについて考える。		○情報モラルや情報セキュリティについて理解する		○情報モラルや情報セキュリティについて考える。		S セキュリティー	A 知識・技能
			A15:発信者としての責任	相手の嫌がること(うそ、他人の悪口、落書き)や個人情報(住所や電話番号)を書き込んではいけないことを知る。書き込んだことは完全に消すことはできないことを知る。	正確な情報の送受信をする(デマや誤送信をしない)勝手に他人の写真や公表してはいけないことを知る。	真偽のわからない情報を拡散してはいけないことを理解する。インターネット上には誤った情報もあることを理解して全てをうのみにしない。					
C 主体的に学習	STEPS	情報モラルセキュリティについての態度	C1: 試行錯誤し計画や改善しようとする態度	問題解決における情報の大切さを意識して行動する情報の活用をふりかえり良さを身につけようとする	目的に応じた情報の活用を見直しを立てようとする。情報のふりかえり改善点を見いだそうとする	複数の視点で想定して計画しようとする。情報及び、情報技術の活用をふりかえり効果や改善点を見いだそうとする。	情報を構造的に理解しようとする。物事を批判的に考察しようとする	情報に関する自分や他者の権利があることを踏まえて尊重しようとする 通信ネットワーク上のルールやマナーをふまえて行動しようとする 生活の中で必要となる情報セキュリティについてふまえて行動しようとする 情報メディアの利用による健康の影響をふまえて行動しようとする	STEPS	C 主体的に学習	
			C2: 多角的に情報を検討しようとする態度	事象と関係する事柄を見つけようとする 情報を複数の視点からとらえようとする	情報同士のつながりを見つけようとする。新たな視点を受け入れて検討しようとする。	情報を構造的に理解しようとする。物事を批判的に考察しようとする					